

2 学年の取組

1 教科・ねらい等	国語	沖縄本土復帰50周年を記念して発行した読売こども新聞を活用して、沖縄の自然・文化・歴史の理解を深める。
2 主な学習内容	こども新聞を読んで、自分が関心を持った記事の内容をまとめ、それに対しての感想や意見を書く。学級内で自分の選んだ記事を紹介し合い共有する。	
3 授業を通しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生なりに、沖縄戦の事、外来種、2千円札のことなどに触れ、考えることができた。内容を深く理解しないまでも、自分の郷土に対しての興味関心を持つ機会になった。 ・新聞には、複数の話題が点在し、自分の関心の幅を広げてくれる場であることに気付くことができた。 ・友達の関心を持った記事から、多様な感じ方がある方を知ることができた。 	
4 授業を通しての課題・改善策	<p>★新聞の内容は充実していて、わかりやすかったが、記事を読み取り記入する内容のワークシートの作成が不十分だった。</p> <p>◇書くのが苦手な児童でも取り組めるような、発問項目を考える。</p> <p>★新聞を読み取らせる授業展開の工夫が必要である。</p> <p>◇記事の見出しを活用し、起承転結の動きのある授業の構築をする。</p>	

1 教科・ねらい等	国語	新聞を開き、グループで楽しく大きな字を探す活動を通して、見出しの存在に気づかせるとともに、言葉を使って考える基礎を養う。
2 主な学習内容	グループで見開きページから、1番大きな字を探し色ペンで囲んで見つけた大きな字を紹介し合う。	
3 授業を通しての成果	<p>☆算数「長さ」で学習したことを活かし、ものさしで字の大きさを測るなど、グループで協力しながら意欲的に活動していた。</p> <p>☆大きな字を探す中で、新聞にはいろんな大きさの字があることに気づくことができた。</p> <p>☆紙面のどんなところに大きな文字があるか考えさせたことにより、「見出し」の存在に気づくことができた。また、見出しを見るだけで、記事の大きな内容が分かることにも気づくことができた。</p> <p>☆授業後、教室においてある新聞でも休み時間に大きな字を探したり、友達同士で紹介し合う姿が見られた。さらに、家でも進んで探すようになった。</p>	

<p>4 授業を通しての 課題・改善策</p>	<p>★文字を読むことに抵抗がある児童への支援が必要。 ◇支援ができる児童と組ませるなど、ペアやグループ構成編制を工夫する。 ★新聞にあまり興味を示さない児童への学習活動の工夫。 ◇図工「しんぶんしとなかよし」の活動を取り入れ、新聞と楽しく触れ合う活動を行うなど、新聞を身近に感じられる学習活動の工夫。</p>
-----------------------------	---